

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年12月25日

【2018年12月15日～2018年12月21日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円では下落、対米ドルでは上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。ブラジル国内の政治動向が年明けまで掴みにくいことから、ブラジル・レアルは外部要因に左右される展開が続きました。

FRB(米国連邦準備制度理事会)が先週のFOMC(米国連邦公開市場委員会)で追加利上げを行いました。しかし、来年の利上げ見通しを引き下げたことや米国経済の先行き不透明感から米ドル安が進行し、ブラジル・レアルは対米ドルで上昇しました。一方、リスク回避の円買いの動きが進んだため、対円では下落しました。

経済指標に関しては10月の経済活動指数の発表がありました。市場参加者の事前予想では大統領選の不透明感などから前月比で低下すると予想されていましたが、結果は予想に反して前月比で上昇、前年比でも市場予想を上回る上昇となりました。

### 【2】今週の見通し

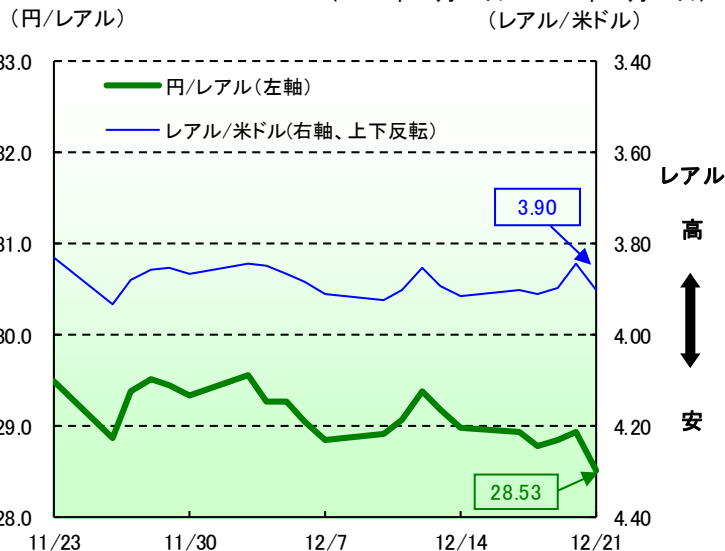
今週は、基礎的財政収支や純債務対GDP(国内総生産)比などの経済指標の発表が予定されています。

ブラジル・レアルについては、ブラジル国内の政治動向が年明けまで掴みにくいことから、引き続き外部要因に左右される展開が続くと考えます。足元の米国株式市場の下落によって、市場のリスク回避の動きが強まれば、新興国通貨であるブラジル・レアルが短期的に売られる展開も考えられます。一方中長期では、ボルソナロ次期政権が掲げる年金改革をはじめとした構造改革の行方がブラジル・レアルの動向のカギになると考えます。

ブラジル金利については、引き続きインフレ懸念の後退から低下傾向にあります。足元の経済回復が緩やかであること、インフレ懸念が後退していることから、ブラジルの政策金利は、新政権発足後もしばらくは現行の水準で維持されると考えます。しかし、市場のリスク回避の動きが加速しブラジル・レアル安が進行した際には、インフレ懸念の再燃に注意が必要です。また、中長期ではブラジルの財政問題などによってインフレ・金利上昇圧力が高まる可能性があるため、中長期ではブラジル・レアル同様に構造改革の行方がカギを握ると考えます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

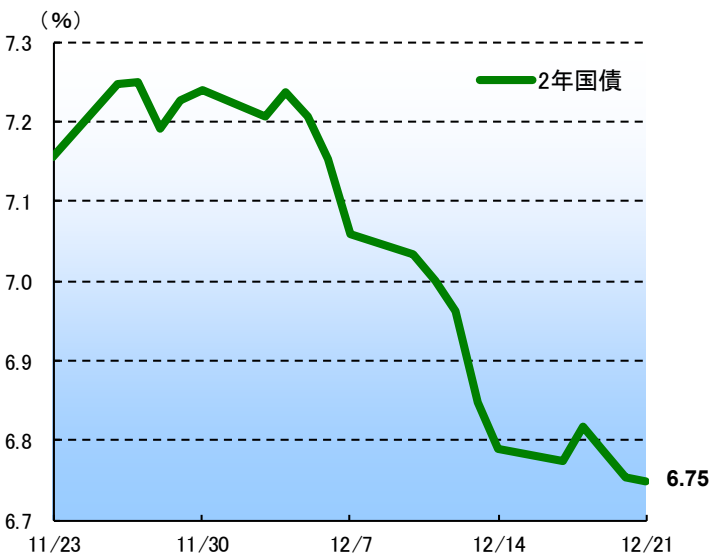
(2018年11月23日～2018年12月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年11月23日～2018年12月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>